



2021年3月17日

各 位

会 社 名：株式会社SK I Y A K I
代表者名：代表取締役社長 小久保 知洋
(コード番号：3995 東証マザーズ)
問合せ先：取締役 酒井 真也
(TEL. 03-5428-8378)

通期業績予想と実績との差異に関するお知らせ

2020年9月11日に公表いたしました2021年1月期（自2020年2月1日至2021年1月31日）の業績予想と本日公表の実績との差異について、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2021年1月期通期連結業績予想と実績との差異（2020年2月1日～2021年1月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 4,950	百万円 150	百万円 120	百万円 35	円 銭 3.27
実績値（B）	4,922	129	72	△22	△2.15
増減額（B－A）	△28	△20	△47	△57	—
増減率（％）	△0.6	△13.7	△39.2	△165.7	—
（ご参考）前期実績 （2020年1月期）	4,899	99	25	△225	△21.33

2. 差異の理由

前回発表の業績予想（2020年9月11日）に対し、ファンクラブ（FC）サービスにおける有料会員数が想定通り堅調に増加したことに加え、ECサービス売上及びO2O事業におけるライブ制作収入も概ね想定通りであったものの、第4四半期においてプラットフォーム事業及びO2O事業の実績値が業績予想を下回ったこと等により、売上高は業績予想比で28百万円の減少となりました。

営業利益については、主に第4四半期会計期間における売上高の業績予想比での減少により、業績予想比で20百万円の減少となりました。

経常利益については、持分法適用関連会社への投資に係るのれん相当額36百万円の減損処理を含む、持分法による投資損失77百万円の損失を計上したこと等により、前回発表予想比で47百万円の減少となりました。

また、特別利益として投資有価証券売却益26百万円を計上し、特別損失として連結子会社の取得に係るのれん等の減損損失28百万円及び役員退職慰労引当金繰入額70百万円を計上したこと等により、親会社株主に帰属する当期純利益は、前回発表予想比で57百万円の減少となりました。

以 上